様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　６　年　４　月　３　日

船　橋　市　長　殿

提出者　　千葉県船橋市藤原1丁目35番1号

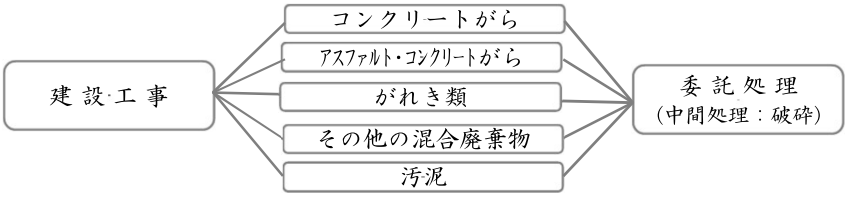
住　所　　株式会社　保戸田組

氏　名　　代表取締役　保戸田真士

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-339-2188

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　保戸田組
事業場の所在地	船橋市藤原1丁目35番1号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業　小分類：総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　　7.8億円
③従業員数	12人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
	（管理体制図） 経営責任者 ⇨ 処理計画最高責任者 ⇨ 統括責任者 ⇨ 処理計画作成 ⇨ 各現場 マニフェスト、契約書の管理 マニフェストの使用、運用 社　長　が　兼　任

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（令和４年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排　出　量	別紙のとおり　t
	（これまでに実施した取組）	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排　出　量	別紙のとおり　t
	（今後実施する予定の取組）	

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスフルトコンクリートがら、がれき類、 その他の混合廃棄物、汚泥 ：工事毎の契約書の管理とマニフェストの使用
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスフルトコンクリートがら、がれき類、 その他の混合廃棄物、汚泥 ：工事毎の契約書の管理とマニフェストの使用

別　紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】				
産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト・コンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
排　出　量	348.70t	966.92t	643.42t	1.41t	9.10t

②計画	【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト・コンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
排　出　量	340.00t	900.00t	630.00t	1.00t	9.00t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルトコンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（これまでに実施した取組）

自社で直接再生利用した産業廃棄物及び自社で中間処理した産業廃棄物はない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルトコンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（今後実施する予定の取組）

自社で直接再生利用したり、自社で中間処理を行う予定はない

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルトコンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（これまでに実施した取組）

自社で熱回収は行っていない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルトコンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（今後実施する予定の取組）

自社で熱回収を行う予定はない

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルトコンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（これまでに実施した取組）

自社で直接処分場への埋立処分又は海洋投入処分は行っていない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルトコンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（今後実施する予定の取組）

自社で直接処分場への埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルトコンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
全処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
再生利用業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（これまでに実施した取組）

現場毎の契約書の管理とマニフェストの使用

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	（今後実施する予定の取組） 優良認定処理業者への処理委託を行う	
※事務処理欄		

別紙のとおり

別　紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】				
産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト・コンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
全処理委託量	348.70t	966.92t	643.42t	1.41t	9.10t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
再生利用業者への処理委託量	348.70t	966.92t	643.42t	1.41t	9.10t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

②計画	【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト・コンクリート	がれき類	その他の混合廃棄物	汚泥
全処理委託量	340.00t	900.00t	630.00t	1.00t	9.00t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
再生利用業者への処理委託量	340.00t	900.00t	630.00t	1.00t	9.00t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和６年　月　日

船橋市長　殿

船橋市
収受
-6.4.19
産業廃棄物指導課

提出者　千葉県船橋市藤原1丁目35番1号
住所　株式会社 保戸田組
氏名　代表取締役 保戸田真士
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-339-2188

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 保戸田組
事業場の所在地	千葉県船橋市藤原1丁目35番1号
事業の種類	大分類:建設業　中分類:総合工事業　小分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

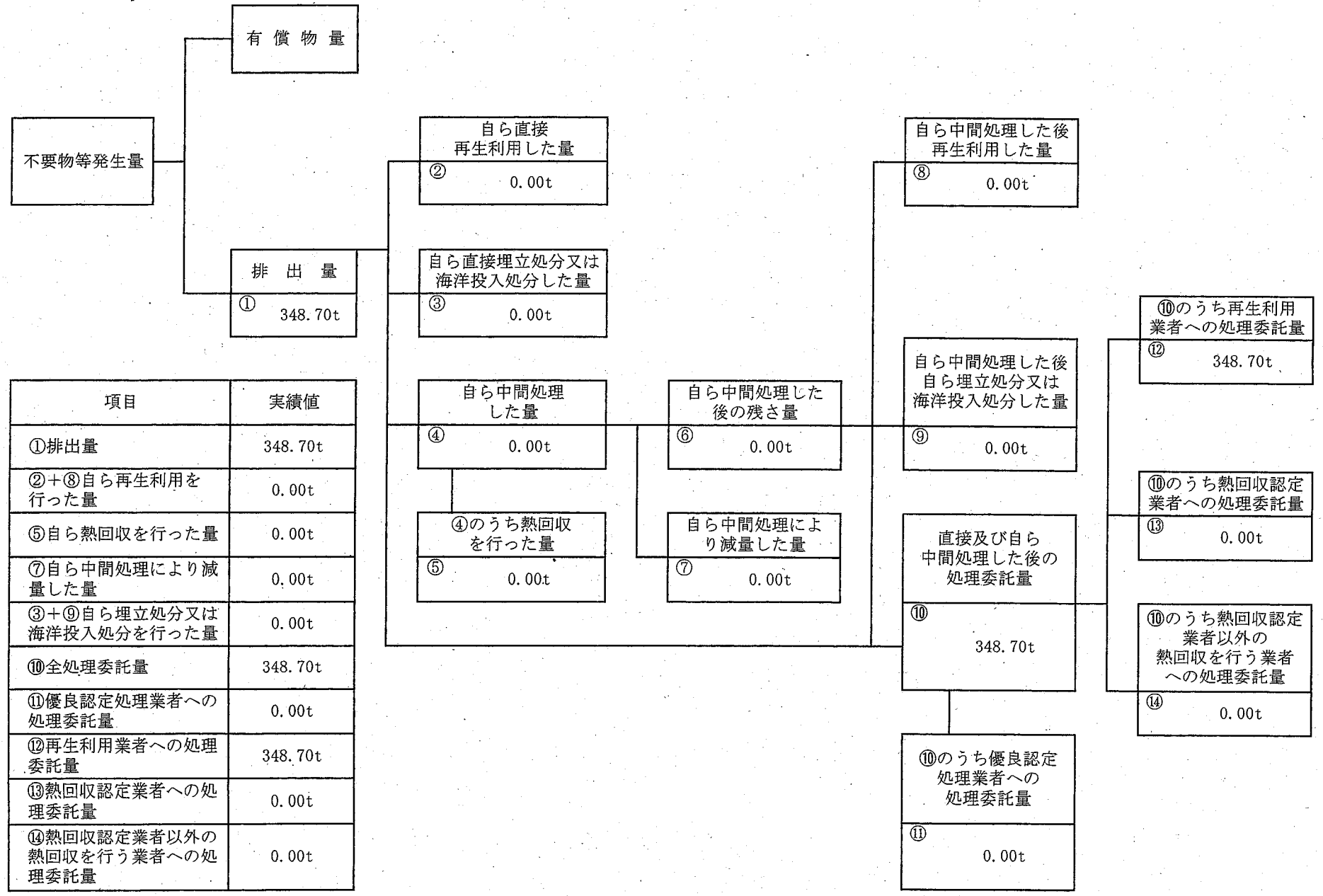
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,832.05 t	全処理委託量	1,832.05 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	1,832.05 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.5t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリートがら　）

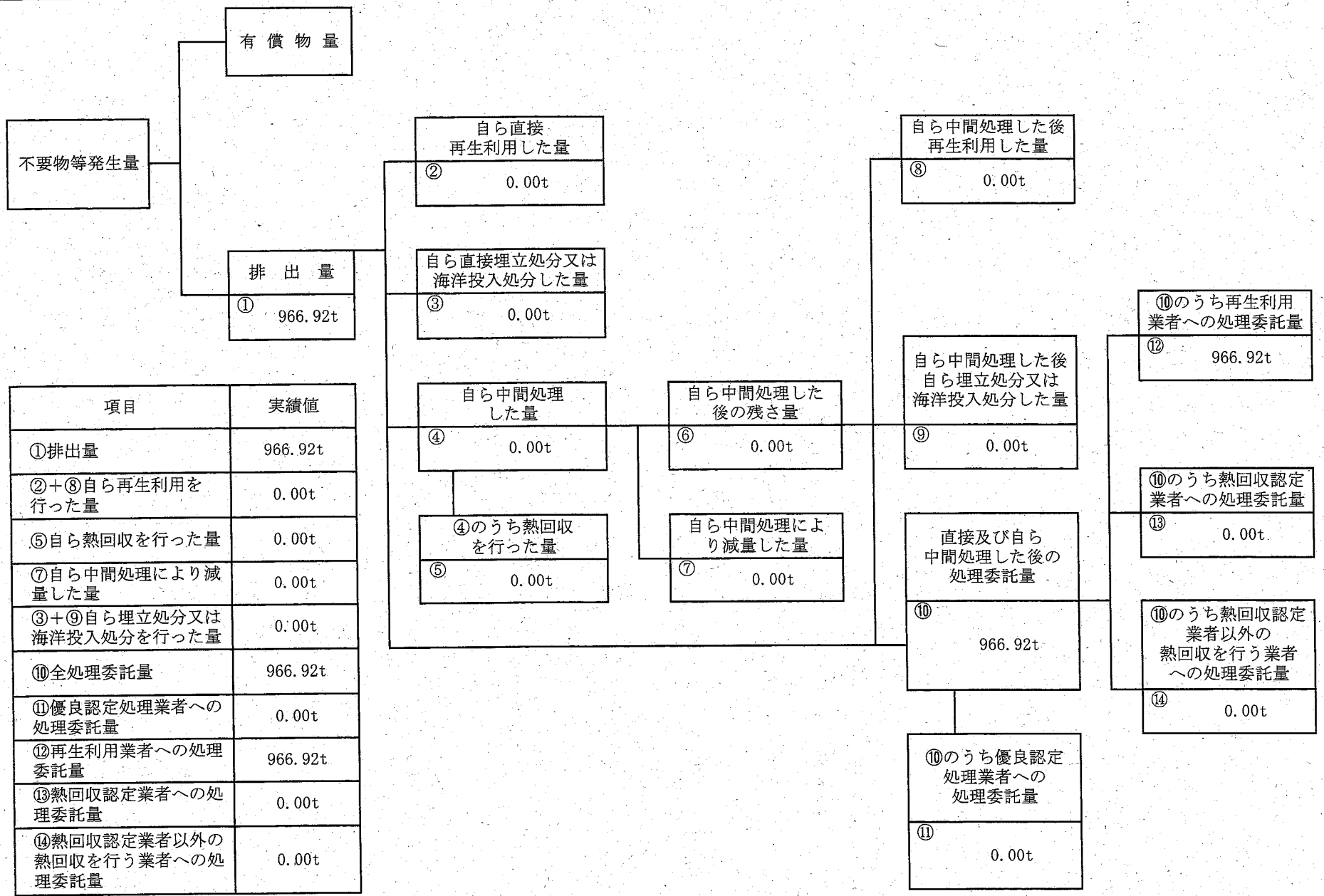


項目	実績値
①排出量	348.70t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	348.70t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	348.70t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら　）

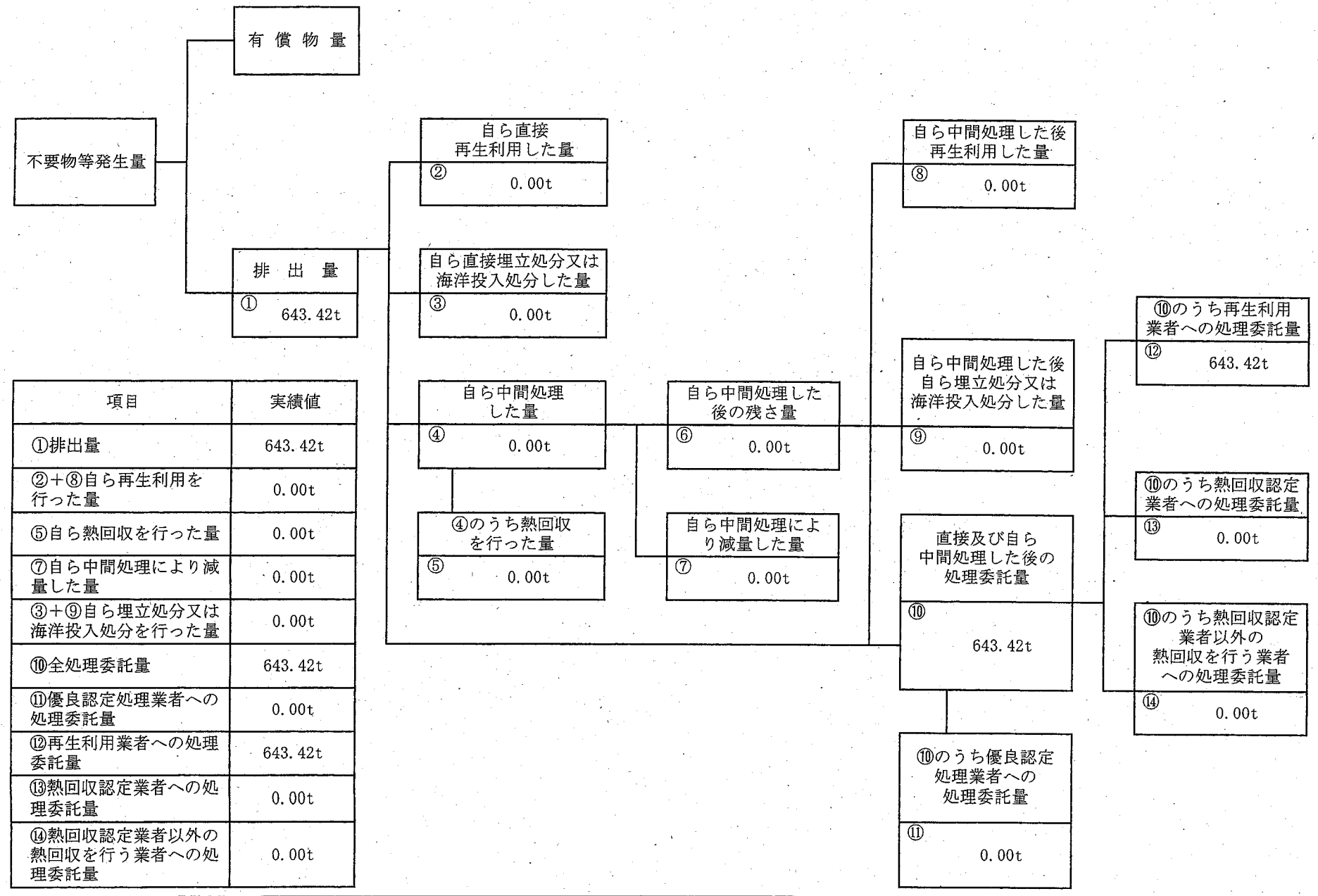


項目	実績値
①排出量	966.92t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	966.92t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	966.92t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第２面）

計画の実施状況

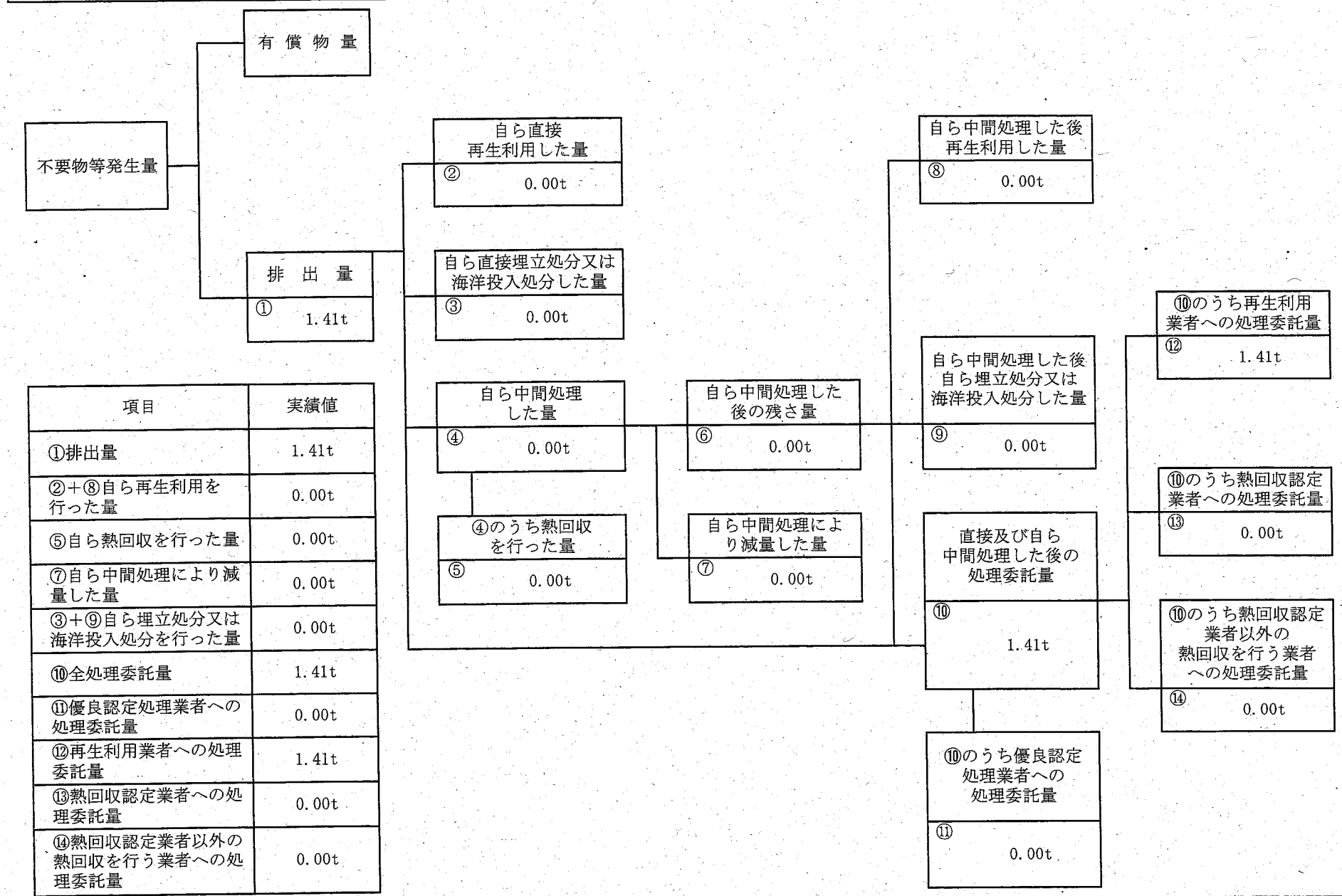
（産業廃棄物の種類：　がれき類　）



項目	実績値
①排出量	643.42t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	643.42t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	643.42t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第２面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　その他の混合廃棄物　）　切断汚泥

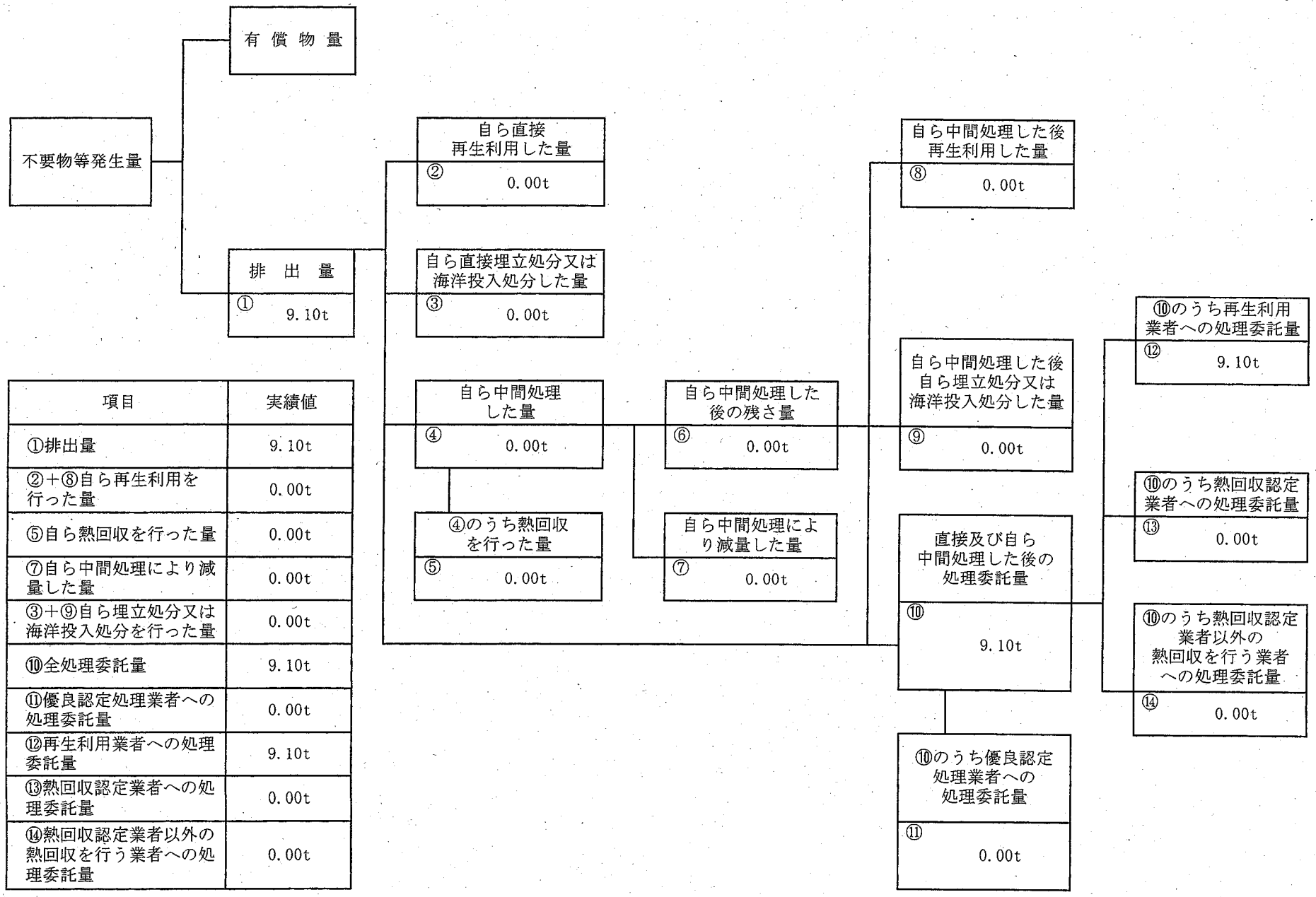


項目	実績値
①排出量	1.41t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	1.41t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.41t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	9.10t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	9.10t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.10t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第２面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、記入しないこと。